

～IMF は 2025 年の世界の経済成長率見通しを上方修正～

◆ 概要

IMF（国際通貨基金）は 1 月 17 日に発表した「世界経済見通し」で、想定を上回る米国経済の好調さを反映し、2025 年の世界の経済成長率（実質 GDP 伸び率）見通しを 3.3%と、2024 年 10 月に示した前回の見通しから 0.1 ポイント上方修正しました。また、2026 年の経済成長率見通しは 3.3%と据え置きました。

IMFは、2025年の経済成長率見通しを先進国は1.9%と0.1ポイント上方修正し、新興国は4.2%と据え置きました。各国・地域ごとの見通しは、米国・中国が上方修正、日本は据え置き、ユーロ圏は下方修正され、国・地域によって差が出る形となりました。米国は労働市場の堅調さと投資の加速や経済の底堅さによって、中国は11月に発表した財政刺激策の影響を理由に経済成長率は上方修正されました。一方、ユーロ圏では、一部の国でエネルギー価格の高騰により製造業が圧迫されたことや政治・政策の不確実性の高まりを受けて経済成長率の見通しが下方修正されました。

世界の総合インフレ率は 2024 年の 5.7%から 2025 年には 4.2%、2026 年には 3.5%へと鈍化する見込みです。一部の国ではインフレ率が高止まりしているケースもありますが、労働市場が徐々に冷え込むことによる需要圧力の抑制やエネルギー価格の下落が予想されることから、総合インフレ率は中央銀行の目標に向かって低下し続け、世界的に物価の上昇率が低下していく状況は、今後も続いていく見通しです。ただ、今後、トランプ次期米大統領が掲げる移民規制強化策や関税政策が実行され、米国における労働人口の減少や関税政策の悪影響が強まった場合は、再びインフレ率が上昇し、中期的には米国だけでなく世界全体の経済が下振れ、不確実性が高まる可能性も指摘されています。

◆ IMF「世界経済見通し」(2025 年 1 月時点)

	IMF見通し			
	2025 年	前回比	2026 年	前回比
世界	3.3%	0.1%	3.3%	0.0%
先進国	1.9%	0.1%	1.8%	0.0%
米国	2.7%	0.5%	2.1%	0.1%
日本	1.1%	0.0%	0.8%	0.0%
ユーロ圏	1.0%	-0.2%	1.4%	-0.1%
新興国	4.2%	0.0%	4.3%	0.1%
中国	4.6%	0.1%	4.5%	0.4%

(出所)IMF のデータをもとにJP投信株式会社作成

以上

【ご留意事項】

- 当資料は、JP投信が投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクを伴います。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

JP投信

商号：JP投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 2879 号
加入協会：一般社団法人投資信託協会

- 当資料は、JP投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。